

ジェネリック医薬品について

ジェネリック医薬品という言葉が最近耳にすることが多いと思います。ジェネリック医薬品は後発医薬品といい、先発医薬品（新薬）に比べ安価であり、医療費を節約することができます。今回はジェネリック医薬品について詳しく説明します。

ジェネリック医薬品とは

先発医薬品の特許が切れた後に販売され、先発医薬品と同じ効果が得られる医薬品をいいます。ジェネリック医薬品は研究開発経費が少なく済み、安全性に関する情報提供にかかるコストが少ないことが、価格が安くなっている要因です。ジェネリック医薬品の普及は医療費や自己負担額の軽減となることから、清里町の医療保険制度はもとより日本全体の医療保険財政の負担軽減につながります。

ジェネリック医薬品を使ってみませんか

日本の医療は、新薬の開発や医療技術の進歩により、以前は治すことができなかった病気も治すことができるようになりました。また、食の欧米化により高齢者の生活習慣病も以前に比べ増えてきています。このような要素に超高齢化という要因が加わり、医療費は急激に増加しています。このことは清里町でも同じであり、清里町の国民健康保険も近年、医療費の増加により財政運営は厳しさを増してきています。

現在、医療費の増加に対して特定健診・保健指導など様々な対策を講じていますが、ジェネリック医薬品も、増大する医療費を抑制する大きな役割を果たしてくれます。皆さん自身の負担軽減にもつながるジェネリック医薬品について、医師や薬剤師に一度相談してみたいはいかがでしょうか。

Q&A ～政府広報オンラインより抜粋～

Q1 先発医薬品をジェネリックに替えると、どのくらい安くなるの？

A1 多くの場合、先発医薬品よりも3割以上、薬代が安くなります。

Q2 ジェネリック医薬品には、どんな種類があるの？

A2 さまざまな病気や症状に対応するお薬が出ています。

Q3 ジェネリック医薬品は、どれくらい普及しているの？

A3 日本で使用される医薬品の2割程度がジェネリック医薬品です。

欧米では、約6割以上がジェネリック医薬品で、日本は先進国の中で一番ジェネリック医薬品の普及が遅れています。

Q4 ジェネリック医薬品を処方してもらうには？

A4 かかりつけの医師や薬剤師に相談しましょう。



更に詳しい内容は政府広報オンラインHPでご覧になれます

http://www.gov-online.go.jp/featured/201106_01/index.html

清里町国民健康保険からのお知らせ

●ジェネリック利用差額通知を送付します

10月末頃を目途にジェネリック利用差額通知を送付します。これはジェネリック医薬品に変更した場合、医療費がいくら安くなるかを参考までに示したものです。実際にジェネリック医薬品に変更をご希望の方は医師・薬剤師にご相談下さい。